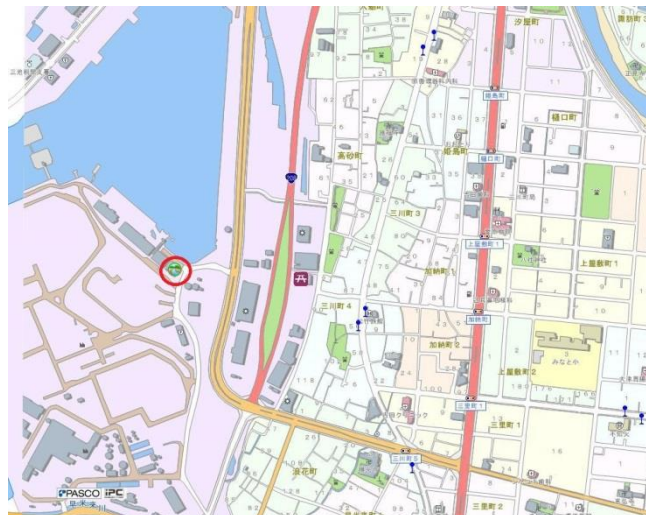


きゅうながさきぜいかんみいけぜいかんししよ

旧長崎税関三池税関支署



- ・規模 模 木造平屋建入母屋造、東西11.64m南北12.64m、浅瓦葺、建築面積124.40㎡
- ・建築年代 明治41年
- ・外観の特徴 入母屋造角部屋付き、浅瓦葺一部銅板葺、外壁下見張、東南面、平側北東が湾に面している。「事務室」「公衆控所」「書類室」「應接室」からなる。
- ・指定の理由 「仮庁舎」として建設されたが扉や窓まわり、出入口の庇屋根などに明治後半の洋風建築の意匠がみられる。全国に残る明治期の税関の建物6棟の内の1棟であり、希少価値が高い。平成23年度修理済み。三池炭鉱の石炭積出港である三池港は1908（明治41）年4月1日開港場に指定されました。三池税関支署は、三池港開港にあわせて建設された洋風建築です。
- ・所在地 大牟田市新港町1番地25



[🗺️地図ナビにリンクしています](#)